

参考図書の使い方

(初めての方へ)

参考図書とは、「ある事柄」や「書かれている文献」などを調べるための本、ツールです。調べる必要があるときに無くては困るので、館内のみでの利用となっています。

参考図書には、いくつかの種類があります。

「ある事柄」(言葉や事象、人物、データなど)を調べるもの

辞書、事典、用語集、図鑑、便覧、ハンドブック、年鑑、年表、統計 など

「書かれている文献」を調べるもの

目録、内容・記事索引 など

参考図書では、調べたい事柄が「目次」や「見出し」になっていないこともあります。まず最初に「索引」を引いてみてください。

スタート!

調べたい事柄は
どの分野・種類のものか
分かりますか?

いいえ

はい

百科事典や国語辞典で調べてみましょう。

これらは、ある事柄について調べたいときその概要を知るために便利なものです。中には、その事柄についての基本的な本や参考文献について書かれている場合もあります。それらを手がかりにすることもできるでしょう。

もっと詳しく知りたい

参考図書は、他の本と同じように、内容や分野ごとにまとめて並べられています。

本棚のサインや本の背に貼っているラベルを見ながらその分野の専門的な事典や目録を探してみましょう。

本の背に貼っている、ラベルの数字が

- 「0」で始まるもの：百科事典など
- 「1」で始まるもの：哲学の事典など
- 「2」で始まるもの：歴史・地名・人物事典など
- 「3」で始まるもの：社会科学の事典、統計など
- 「4」で始まるもの：自然科学、医学の事典、図鑑など
- 「5」で始まるもの：技術工学の事典、便覧など
- 「6」で始まるもの：農林水産業の事典、便覧など
- 「7」で始まるもの：芸術・美術の事典など
- 「8」で始まるもの：国語辞典、各国語の辞典など
- 「9」で始まるもの：文学の事典、内容索引など

他の資料も見たい

貸出できる本の中にあるかも知れません。本の背にあるラベルの数字が同じものを本棚のサインや館内の案内図を見ながら探してみましょう。